

令和3年3月4日

令和2年度第1回債権管理・回収等検証委員会 ご意見・ご質問

1. 所得連動返還方式のイメージ図について

1. 所得連動返還方式のイメージ図について(資料1)

ご意見・ご質問

- イメージ図の変更について、通常の返還の場合、本返還方式を利用し返還額が少なくなる場合、収入が増え返還期間が短くなる場合の3つを取り入れてはどうか。
- 本返還方式の選択率が低いと思う。制度の周知が十分に行われていないのではないか。

本方式の内容が伝わりやすいようにイメージ図を作成し、周知してまいります。

2. 返還方式の変更について

2. 返還方式の変更について(資料1)

ご意見・ご質問

- 貸与終了後に定額返還方式から所得連動返還方式にしか変更できないのはなぜか。
- コロナ禍において所得連動返還方式は有効だと考えられる。貸与終了後の返還方式の選択を柔軟に設定(コロナが収束し所得が戻った方には再度定額返還方式へ戻せるなど)できないか。

所得の低い間は所得連動返還方式により返還月額を抑え、所得が高くなった時点で定額返還方式に切り替えて返還月額の上昇を避けるといった返還手段を認めないために変更の制限をしております。

必要に応じ、返還期限猶予制度や繰上返還制度等を利用していただきたいと思いますと考えております。

3. 令和元年度の回収状況について

3. 令和元年度の回収状況について(資料2)

ご意見・ご質問

- ・ 厳しい評価指標のもと回収状況において高い評価をもらったのは素晴らしい成果である。
- ・ 第5期中期計画期間に向けて、評価指標の立て方を検討してはどうか。

他の金融機関における債権回収等における経営指標も参考とし、費用対効果も考慮に入れたうえで、実施可能な評価指標を提案できるよう検討してまいります。

4. マイナンバーの活用について

4. マイナンバーの活用について(資料1 他)

ご意見・ご質問

- 返還者全員からマイナンバーを提出させることで今後の回収率をあげていくことができるのではないかと。
- マイナンバー活用に伴う申請書類の不備等が多数発生した時期があったが現在は解消しているようである。申請書類自体の見直しも必要ではないか。
- 住所調査等には十分に活用されているようであるが、申請者の利便性向上、ペーパーレス化の観点から事務フローの見直しが必要ではないか。

政府のデジタル化等の動きを注視しつつ、申請者の利便性向上、ペーパーレス化の観点から、費用対効果等も踏まえ、活用の方向性、事務フローの見直し等を検討してまいります。

5. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について(資料4)

ご意見・ご質問

- 返還期限猶予の案内などを適時に行うなど、影響が生じないよう先手の対応を講じることが望ましい。
- 返還者の収入状況の悪化・回収率の低迷が懸念されるが、一方で、コロナ禍における無理な回収交渉は高いレピュテーションリスクを孕んでいると考えられる。

現在の状況下における本機構の役割は修学継続をあきらめさせないこと、返還が困難になった場合に適切な救済措置を講ずることであるとの認識のもと、本機構ホームページ等を活用し、減額返還制度や返還期限猶予制度を案内する等、コロナ禍の影響を受け、返還が困難となる返還者の救済措置の周知等を行ってまいります。

6. 返還意識の涵養について

6. 返還意識の涵養について(資料1 他)

ご意見・ご質問

- スカラシップ・アドバイザー派遣事業のガイダンス実施は改善の余地があるのではないか。
- 返還手続き開始時に金融家計管理リテラシーの向上に努める施策を設定すると良いのではないか。

スカラシップ・アドバイザー派遣事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、新たにオンライン版のガイダンスを開始いたしました。

今後もアドバイザー派遣、オンライン版それぞれの良い点を活かして、生徒や保護者へ必要な情報をお伝えできるよう取り組んでまいります。

また、返還開始前の「返還のてびき」の配付等により、引き続き返還意識の涵養を図る取り組みを行ってまいります。